

復興支援コスプレ委員会が、東京進出！ BABA FEST 2011で、コスプレイベントを開催。



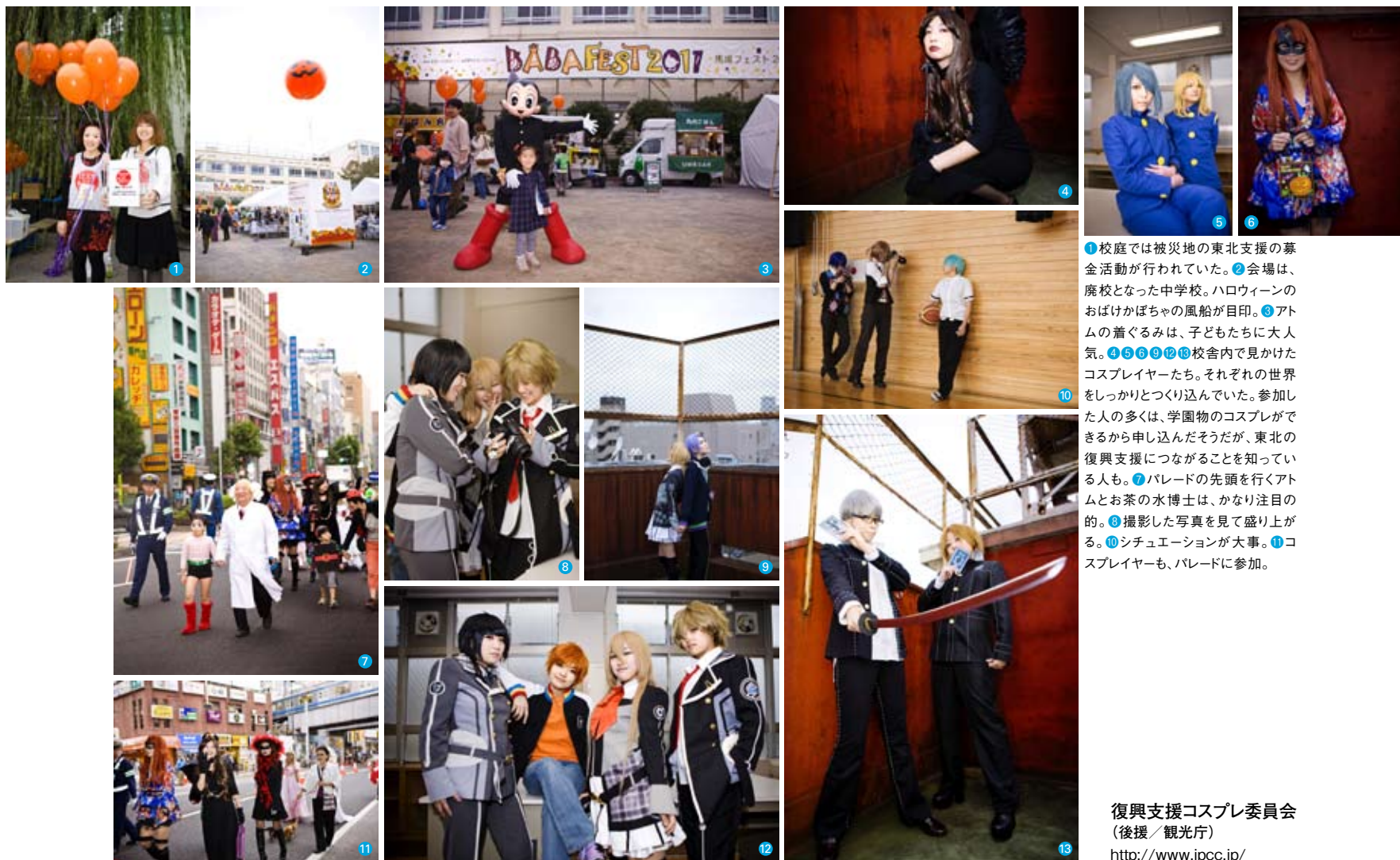
コスプレと復興支援。このふたつを結びつけているのが「復興支援コスプレ委員会」だ。大好きなコスプレを通して、東日本大震災の復興を支援しようと結成され、関西圏を中心に活動してきた。そして、10月30日には「BABA FEST 2011」で、委員会がはじめて関東で主催するコスプレイベントが行われた。

午後2時、パトントワラーなどの子どもたちに交じて、思い思いの衣装に身を包んだコスプレイヤーが高田馬場駅前から早稲田通りをパレード。魔女やお姫さま、アトムやお茶の水博士の扮装に、道路沿いの見物客はカメラを向けた

り、手を振ったり。その後、パレードの一行は、メイン会場の旧・西戸山第二中学校へ向かった。「BABA FEST2011」は、高田馬場の商店街や企業、大学、専門学校の人たちが中心となり今年から始まった地元密着型のお祭り。ハロウィーンが近いこともあり、仮装をしながら、仮想的な楽しい一日を過ごそうというものだ。屋台村やワークショップに加え、高田馬場に縁のある手塚治虫関係の展示やトークショーが行われた。「復興支援コスプレ委員会」も、校舎と校庭、体育館という学校まるごとをコスプレの撮影に使えるということでコスプレイヤーに呼びかけた

ころ、160名が集合。アニメやマンガ、ゲームのキャラクターになりきって、あちこちで撮影が行われた。近くに住んでいるという30代の女性は、コスプレは初めてとか。「すごく楽しかったです。しかも、これが復興支援の募金にもなると聞いて、どんな形でもサポートできるのは素敵だと思いました」と感想を話してくれた。

「これまで行った復興支援のコスプレは10回ほど。これを機会に、関東圏でもどんどんコスプレイベントを開催して、支援に役立てたいです」と語るのは、委員会を主宰する杉本真依さん。手応えを感じたようだ。



①校庭では被災地の東北支援の募金活動が行われていた。②会場は、廃校となった中学校。ハロウィーンのおばけかぼちゃの風船が目印。③アトムの着ぐるみは、子どもたちに大人気。④⑤⑥⑨⑩校舎内で見かけたコスプレイヤーたち。それぞれの世界をしっかりと作り込んでいた。参加した人の多くは、学園物のコスプレができるから申し込んだそうだが、東北の復興支援につながることを知っている人も。⑦パレードの先頭を行くアトムとお茶の水博士は、かなり注目の的。⑧撮影した写真を見て盛り上がる。⑩シチュエーションが大事。⑪コスプレイヤーも、パレードに参加。

復興支援コスプレ委員会
(後援/観光庁)
<http://www.jpcc.jp/>

sotokoto trail mix

